



ちゅうりっぷつうしん



お花とダンゴムシはどこで見られる!?

北陸地方も梅雨入りして、夏を感じさせるような暑さの日も多くなりましたが、ちゅうりっぷ組の子ども達はますます元気いっぱいです。月津こども園では子ども達の主体性を育む教育保育に取り組んでおり、ちゅうりっぷ組でも子ども達の思いを大切にしながらお散歩を楽しんでいます。

みんなで何を見に行きたいか、何を見つけたかを考えてお散歩の行先やコースを決めてお散歩を楽しんでいます。これまでの散歩で、どこに行けばどんなものが見られるのかを子ども達はよく知っていて、「今日はどこに行こうか? 何を見る?」と聞けば、「お花!」、「ダンゴムシ捕まえない!」と話してくれます。「お花とダンゴムシを見に行けるところってどこかな?」と尋ねると、保育室から道路の方を見回して以前行ったことのある原っぱの方角を指さし、「あっちの方に行けばいいよ」とか「ダンゴムシはお花の中でねんねしてる!」など元気いっぱいに答えてくれます。「お花を見に行きたいな」、「ダンゴムシを捕まえないな」、と書いていても恥ずかしがる子どももいますので、安心して話せるように一人ひとりの思いに寄り添っていきたいと思います。

日々移ろう季節の中で、子ども達の期待するお花やダンゴムシは見つからないかもしれませんが、でも、その時には「今度またチャレンジしようね!」とお話しています。逆に以前はいなかった虫やお花に出会えることもあります。先日はバッタを捕まえて大喜びしたり、見つけたシロツメクサを手にとり、香りを楽しみながら帰路についたこともありました。毎回、新しい発見や出会いがあります。

さあ今日も、子ども達と一緒に保育者もドキドキワクワクしながらの出発です!



今日は何を探す?

お花がいいな!

みんなの行きたいのはこっち?

ダンゴムシ捕まえる!

こっち、まっすぐ!

そこの原っぱー!

バッタ捕まえたよー!

見て見て!
ダンゴムシ!

ダンゴムシおるかな~?

さくらんぼ欲しいな!

